



タイルと瓦縁の水栓、タオルハンガーがアクセントに。洗面ボウルは汚れが付きにくい陶器製をチョイス



主寝室の窓は周囲との視線を避け、隠小窓のサイズに。心を癒めて休むためのシンプルな空間に仕上げた



お籠りモードで使える和室はリモートワーク対応のカウンター付き。間仕切り格子や網代天井が和の趣



KITCHEN

“カフェのような雰囲気”を求めて設計したカウンターキッチン。程良縁のまろやかな口な磁器がキッチンには立つお皿を盛り上げてくれる。もちろん収納があるので目隠しや食品の臭い・曇りもすっきり収納できる



照明やペーパーホルダーにもこだわりが感じられる。壁にはストック用の収納も納作

HOUSE INFO

- 居住者構成: 夫婦+子ども1人
- 建物規模: 半屋
- 主要構造: 木造
- 敷地面積: 55.65㎡
- 建物面積: 125.87㎡
- 床面積: 105.16㎡
- 設計: (株)ハウスランド社
- 施工: (株)ハウスランド社
- 設計期間: 約60日
- 工事期間: 約5カ月
- 竣工: 2025年5月

COMPANY DATA

株式会社 ハウスランド社
吉本事務所

筑前市大字吉本344-1
TEL 092-922-8771
https://www.jr-land.jp

⇒ 詳しい情報はP000に掲載

間取りや動線も、暮らしの質を左右する

衣類をまとめて管理できる大容量のワードローブをつくることと狭くならないように、ミラーワードローブを確保。個室にクローゼットをつくることと狭くならないように、収納はここに集約しました。隣接したランドリスペースには室内干し用のポールと洋服を畳んだりアイロンをかけたたりするためのカウンターをついたので、洗濯から乾燥、アイロンかけ、収納までが数歩で完結。とても便利です。落ち着いて食事するダイニングとのびのびと寛ぐリビングと、緩やかに分けたいと考えていたご主人夫妻、糸山さんは天井の高さに変化をつけることを提案。ダイニングの天井をあえて低くすることで、食卓に十分な明るさと落ち着いた雰囲気を出し、リビングは勾配天井で開放感を演出。ダウンライトと間接照明を巧みに用いることで、各空間に必要な十分な光を届けている。特に夜、キッチン上のライン状の間接照明とリビングのダウンライトにする時間が好きなので。テレビ画面への映り込みもありません。

し、眩しくないちょうどいい明るさで、夜中に起きて子どものミルクをつくる時にも重宝しています。」「ロフトと繋がりたい」というSさんの希望を叶えた和室は、リモートワークや子どものお昼寝に使える多目的スペースに。「撥水性のある和紙壁なら、子どもが何かをこぼしても、サッと拭けば跡が残らない。子育て世代にはありがたい素材提案でした」と奥さま。ご主人も「軒を深くしようよ」という提案も大正解でした。雨の日でも窓を開けられますし、夏の強い日差しも遮ってくれる。雨の日でも、ベビーカーに乗せることも郵便物も濡れずに済みますと近す。施主の希望を最大限に尊重しつつ、プロの視点から最適な答えを導き出す真摯な家づくりが、大きな満足につながっているようだ。こだわりが強い僕たちからベースに合わせて、丁寧に打ち合わせてくつてもうえたおかげで、どこを切り取ってもお気に入りの家がなりました。



EXTERIOR

茶色の瓦屋根と漆喰壁の組み合わせが和モダンな外観。約2m伸びた南側の長い軒は、雨や強い日差しを遮って、利便性も向上させている



ダウンライトと間接照明を組み合わせた照明計画。やわらかな光が心地よい

こここの灯りが家族の時間をやさしく照らす

暮らしを豊かで便利にする
間取りと設けの工夫とは

趣味兼副業の無垢板の加工販売や仕事のため、また、趣味のアウトドア用品を収納するスペースを必要としていたSさん。プランづくりは玄関から庭へとつながる。土間を確保するところからスタートした。「庭仕事で汚れたまま裏口から土間に入り、そこから洗面所や浴室に直行できる動線をつくりました。子どもが庭で遊んだあとも、リビングを通らずに直接洗い場へ連れて行けるので、本当に助かります。水回りのすぐそばには、家族全員



たっぷり収納を備えたアイランドキッチンは大川のオーダー家具メーカー・本橋工務製。ブラックスチエールの実用性向上で存在感は抜群。扉戸にはお気に入りのコピーアイテムを並べて